

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4602		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	河本 志朗		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 4		
講義室	1312	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP3-G〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP6-K〔表現力・対話力〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 DP7-L〔協働力・牽引力〕集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 DP8-M〔省察力〕知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1学識と専門技能－20% F1探求と論拠－10% F2問題解決－10% G1状況把握－10% K1ライティングコミュニケーション－20% K2オーラル・コミュニケーション－10% L1チームワーク－10% M1統合的・応用的学習－10%		
教員の実務経験	担当教員は山口県警察に21年間勤務し、その間3年間外務省に、さらに3年間警察庁警備局に出向し海外安全対策やテロ対策に従事しました。その後、民間研究機関において18年間にわたり危機管理、テロ対策、組織犯罪対策の研究に従事しました。各授業回においては、こうした実務経験と研究経験を融合させた観点から、各々の学生の研究テーマの内容に応じて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（第1回～第15回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	危機管理とその基礎となる法学に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究の手法を学び、学生自らが個人の研究テーマを設定し、研究論文を執筆するための指導を行います。ここでは、卒業論文につながる個人研究に関する研究手法、調査手法などを確立するために、その学術的方法論の検討と指導を行います。授業形式は演習形式により行います。なお、		

	授業の一部を補完・代替するためにオンライン授業（ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード 仮説、実証、先行研究								
授業の趣旨	■副題 ゼミナールⅠでの研究発表を踏まえて、卒業論文のテーマにつながる研究テーマを選定し、専門的な研究を進め、卒業論文の作成につなげていきましょう。 ■授業の目的 ゼミナールⅠでの研究発表を踏まえて、自らの関心領域を絞り込み、自らの問題意識を確立して、卒業論文の作成に向けて個人研究のテーマを設定し、その中で問題を発見し、問題の解決に向けて研究を深める過程において、学術的方法論を検討することによって研究手法、調査手法などを確立することを目的とします。 ■授業のポイント 履修生各自が自らの関心領域を絞り込んで選定したテーマについて、さらに研究を深めて、その研究成果を報告することにより、学術的方法論を検討し、適切な研究手法や調査手法などを確立し、卒業論文の作成につなげることを目指します。								
総合到達目標	■ゼミナールⅠにおける研究の成果を踏まえて卒業論文の研究テーマを選定することができる。 ・ゼミナールⅠで検討した個人研究テーマについて先行研究を深めた結果について精査することができる。 ・先行研究の結果を精査したうえで、卒業論文のテーマを選定することができる。 ■学術的方法論を検討することによって研究手法、調査手法などを確立することができる。 ・研究テーマの課題を研究する上で必要な学術的方法論について検討することができる。 ・必要な学術的方法論の検討により、必要な研究方法や調査手法について決定することができる。								
成績評価方法	次の方法により成績を評価します。 ■研究発表（70%） （評価の観点）自ら設定したテーマに関する研究発表について、研究の課題、研究目的、研究の方法、論理構成の妥当性などを評価します。 （フィードバックの方法）授業時間中に講評します。 ■授業参加度（30%） （評価の観点）他の履修性が発表する研究に関して、研究の課題、研究目的、研究の方法、論理構成の妥当性などについて相互討論を行う中で、自らの考えを自らの言葉で発言することによって討論に積極的に参加して議論を進め、考察を深めることに貢献できているかについて評価します。 （フィードバックの方法）授業の時間中に講評します。								
履修条件	特にありません。								
履修上の注意点	授業中は、積極的に発言することを求めますので、そのためには十分な予習をしておいてください。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ 共同研究① ②授業概要 共同研究の発表に向けて、各自の研究の進捗状況の報告を受けて研究計画全体の進捗を確認するとともに、研究内容や設定された課題及び課題解決方法が妥当であるかを検討することができる。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）共同研究における自らの分担研究の進捗状況をまとめて報告できるように準備しておく。 ④復習（120分）研究計画の進捗状況や研究の妥当性の検討結果を踏まえて、自らの分担研究を進める。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 共同研究② ②授業概要 共同研究の発表に向けて、各自の研究の進捗状況の報告を受けて研究計画全体の進捗を確認するとともに、研究内容や設定された課題及び課題解決方法が妥当であるかを検討することができる。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）共同研究における自らの分担研究の進捗状況をまとめて報告できるように準備しておく。 ④復習（120分）研究計画の進捗状況や研究の妥当性の検討結果を踏まえて、自らの分担研究について完成に向けて進める。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 共同研究③ ②授業概要 共同研究の発表に向けて、各自の研究成果を発表し、全体で討議することにより研究内容の完成度を高めるとともに、スライドや発表原稿などの発表の構成案を策定することができる。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ 共同研究① ②授業概要 共同研究の発表に向けて、各自の研究の進捗状況の報告を受けて研究計画全体の進捗を確認するとともに、研究内容や設定された課題及び課題解決方法が妥当であるかを検討することができる。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）共同研究における自らの分担研究の進捗状況をまとめて報告できるように準備しておく。 ④復習（120分）研究計画の進捗状況や研究の妥当性の検討結果を踏まえて、自らの分担研究を進める。	2	①授業テーマ 共同研究② ②授業概要 共同研究の発表に向けて、各自の研究の進捗状況の報告を受けて研究計画全体の進捗を確認するとともに、研究内容や設定された課題及び課題解決方法が妥当であるかを検討することができる。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）共同研究における自らの分担研究の進捗状況をまとめて報告できるように準備しておく。 ④復習（120分）研究計画の進捗状況や研究の妥当性の検討結果を踏まえて、自らの分担研究について完成に向けて進める。	3	①授業テーマ 共同研究③ ②授業概要 共同研究の発表に向けて、各自の研究成果を発表し、全体で討議することにより研究内容の完成度を高めるとともに、スライドや発表原稿などの発表の構成案を策定することができる。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を
回	内容								
1	①授業テーマ 共同研究① ②授業概要 共同研究の発表に向けて、各自の研究の進捗状況の報告を受けて研究計画全体の進捗を確認するとともに、研究内容や設定された課題及び課題解決方法が妥当であるかを検討することができる。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）共同研究における自らの分担研究の進捗状況をまとめて報告できるように準備しておく。 ④復習（120分）研究計画の進捗状況や研究の妥当性の検討結果を踏まえて、自らの分担研究を進める。								
2	①授業テーマ 共同研究② ②授業概要 共同研究の発表に向けて、各自の研究の進捗状況の報告を受けて研究計画全体の進捗を確認するとともに、研究内容や設定された課題及び課題解決方法が妥当であるかを検討することができる。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）共同研究における自らの分担研究の進捗状況をまとめて報告できるように準備しておく。 ④復習（120分）研究計画の進捗状況や研究の妥当性の検討結果を踏まえて、自らの分担研究について完成に向けて進める。								
3	①授業テーマ 共同研究③ ②授業概要 共同研究の発表に向けて、各自の研究成果を発表し、全体で討議することにより研究内容の完成度を高めるとともに、スライドや発表原稿などの発表の構成案を策定することができる。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を								

	行います。 ③予習（120分）共同研究における自らの分担研究について報告できるように準備しておく。 ④復習（120分）発表の構成案につき、自らの分担研究の成果を構成案に盛り込む作業を行う。
4	①授業テーマ 共同研究④ ②授業概要 共同研究の発表に向けて、各自作成した発表用スライド案や発表原稿案を検討し、最終的なものにすることができる。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）共同研究における自らの分担研究の成果を構成案にそってスライドや原稿を作成しておく。 ④復習（120分）授業における検討を踏まえて、発表スライド及び原稿の修正を行う。
5	①授業テーマ 共同研究⑤ ②授業概要 共同研究の発表に向けて、完成した発表用スライド及び発表原稿案を使って発表の予行演習を行う。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）スライドと発表原稿を使って発表のシミュレーションをしておく。 ④復習（120分）予行演習を踏まえて、最終的な調整を行う。
6	①授業テーマ 履修生各自の設定した研究テーマについての発表及び討論 ②授業概要 ゼミナールⅠにおける研究発表を踏まえて、卒業論文のテーマにつながる研究テーマを検討・設定し、関連する文献を検索・収集して研究した成果について、レジュメを作成して発表し、討論することができる（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）自ら設定した研究テーマについて、関連する文献を検索・収集しテーマに関する研究を深め、レジュメを作成し発表及び討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、今後の研究に活用するため、研究発表と討論の内容を報告書にまとめる。
7	①授業テーマ 履修生各自の設定した研究テーマについての発表及び討論 ②授業概要 ゼミナールⅠにおける研究発表を踏まえて、卒業論文のテーマにつながる研究テーマを検討・設定し、関連する文献を検索・収集して研究した成果について、レジュメを作成して発表し、討論することができる（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）自ら設定した研究テーマについて、関連する文献を検索・収集しテーマに関する研究を深め、レジュメを作成し発表及び討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、今後の研究に活用するため、研究発表と討論の内容を報告書にまとめる。
8	①授業テーマ 履修生各自の設定した研究テーマについての発表及び討論 ②授業概要 ゼミナールⅠにおける研究発表を踏まえて、卒業論文のテーマにつながる研究テーマを検討・設定し、関連する文献を検索・収集して研究した成果について、レジュメを作成して発表し、討論することができる（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）自ら設定した研究テーマについて、関連する文献を検索・収集しテーマに関する研究を深め、レジュメを作成し発表及び討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、今後の研究に活用するため、研究発表と討論の内容を報告書にまとめる。
9	①授業テーマ 履修生各自の設定した研究テーマについての発表及び討論 ②授業概要 ゼミナールⅠにおける研究発表を踏まえて、卒業論文のテーマにつながる研究テーマを検討・設定し、関連する文献を検索・収集して研究した成果について、レジュメを作成して発表し、討論することができる（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）自ら設定した研究テーマについて、関連する文献を検索・収集しテーマに関する研究を深め、レジュメを作成し発表及び討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、今後の研究に活用するため、研究発表と討論の内容を報告書にまとめる。
10	①授業テーマ 履修生各自の設定した研究テーマについての発表及び討論 ②授業概要 ゼミナールⅠにおける研究発表を踏まえて、卒業論文のテーマにつながる研究テーマを検討・設定し、関連する文献を検索・収集して研究した成果について、レジュメを作成して発表し、討論することができる（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）自ら設定した研究テーマについて、関連する文献を検索・収集しテーマに関する研究を深め、レジュメを作成し発表及び討論に備える。

	④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、今後の研究に活用するため、研究発表と討論の内容を報告書にまとめる。
11	①授業テーマ 履修生各自の設定した研究テーマについての発表及び討論 ②授業概要 ゼミナールⅠにおける研究発表を踏まえて、卒業論文のテーマにつながる研究テーマを検討・設定し、関連する文献を検索・収集して研究した成果について、レジュメを作成して発表し、討論することができる（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）自ら設定した研究テーマについて、関連する文献を検索・収集しテーマに関する研究を深め、レジュメを作成し発表及び討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、今後の研究に活用するため、研究発表と討論の内容を報告書にまとめる。
12	①授業テーマ 履修生各自の設定した研究テーマについての発表及び討論 ②授業概要 ゼミナールⅠにおける研究発表を踏まえて、卒業論文のテーマにつながる研究テーマを検討・設定し、関連する文献を検索・収集して研究した成果について、レジュメを作成して発表し、討論することができる（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）自ら設定した研究テーマについて、関連する文献を検索・収集しテーマに関する研究を深め、レジュメを作成し発表及び討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、今後の研究に活用するため、研究発表と討論の内容を報告書にまとめる。
13	①授業テーマ 履修生各自の設定した研究テーマについての発表及び討論 ②授業概要 ゼミナールⅠにおける研究発表を踏まえて、卒業論文のテーマにつながる研究テーマを検討・設定し、関連する文献を検索・収集して研究した成果について、レジュメを作成して発表し、討論することができる（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）自ら設定した研究テーマについて、関連する文献を検索・収集しテーマに関する研究を深め、レジュメを作成し発表及び討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、今後の研究に活用するため、研究発表と討論の内容を報告書にまとめる。
14	①授業テーマ 履修生各自の設定した研究テーマについての発表及び討論 ②授業概要 ゼミナールⅠにおける研究発表を踏まえて、卒業論文のテーマにつながる研究テーマを検討・設定し、関連する文献を検索・収集して研究した成果について、レジュメを作成して発表し、討論することができる（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）自ら設定した研究テーマについて、関連する文献を検索・収集しテーマに関する研究を深め、レジュメを作成し発表及び討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、今後の研究に活用するため、研究発表と討論の内容を報告書にまとめる。
15	①授業テーマ 履修生各自の設定した研究テーマについての発表及び討論 ②授業概要 ゼミナールⅠにおける研究発表を踏まえて、卒業論文のテーマにつながる研究テーマを検討・設定し、関連する文献を検索・収集して研究した成果について、レジュメを作成して発表し、討論することができる（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）自ら設定した研究テーマについて、関連する文献を検索・収集しテーマに関する研究を深め、レジュメを作成し発表及び討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、今後の研究に活用するため、研究発表と討論の内容を報告書にまとめる。
関連科目	自主創造の基礎1 RMGT1215、自主創造の基礎2 RMGT1216、危機管理基礎演習Ⅱ RMGT2602、ゼミナールⅠ RMGT4601、ゼミナールⅢ RMGT4603、ゼミナールⅣ RMGT4604、と関連があります。
教科書	特にありません。
参考書・参考URL	履修生の研究テーマにより異なりますので、その都度示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜日5時限 それ以外の時間についてはメールにて事前にアポイントを取れば対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 履修生の研究テーマにより異なります。 ■危機管理学と法学のバランス 履修生の研究テーマにより異なります。



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.